

予期しない妊娠への相談対応研修

～現場で役立つ知識を学ぶ～ (パート1：基礎編)

現場で出会う予期しない妊娠に悩む相談者の背景や課題について知り、実際の相談現場で役立つスキルや支援の在り方、支援に活用できる福祉制度などを学びます。

日時	2022年 8月12日(金) 9:30～16:30 (受付9:00～)
会場	山口県健康づくりセンター(山口市吉敷下東3丁目1番1号)
対象者	山口県在住・在勤の行政関係者、保健師・助産師・看護師・医師・学校教諭・養護教諭・児童福祉担当者等、思いがけない妊娠に悩む人の相談事業に携わっている方
定員	80名程度 ※定員になり次第締め切り
受講料	1,000円(テキスト代)

※テキストは、「妊娠SOS相談対応ガイドブック(第6版)」(2022年6月発行・最新版)を使用します。法制度や各種情報が大幅に更新されていますので、当日受付にてご購入ください。

研修内容・講師

- ▶▶▶「妊娠SOS相談が求められる背景と現状～子育て世代包括支援センターの展開をふまえて～」
佐藤 拓代 氏 (全妊ネット代表理事、公益社団法人母子保健推進会議会長、医師)
- ▶▶▶「予期しない妊娠をした女性への質の高い相談対応」
松岡 典子 氏 (全妊ネット理事、MCサポートセンターみっくみえ代表、助産師)
- ▶▶▶「予期しない妊娠をした女性の背景とその支援」
赤尾 さく美 氏 (全妊ネット理事、一般社団法人ベアホープ理事、助産師)
- ▶▶▶「地域の社会資源：母子生活支援施設の役割と可能性」
岩城 克枝 氏 (母子生活支援施設 沙羅の木 施設長)
- ▶▶▶「育てられない女性と子どもの福祉 ～特別養子縁組～」
赤尾 さく美 氏 (全妊ネット理事、一般社団法人ベアホープ理事、助産師)

※終了後、受講証をお渡しします。

主催：山口県こども・子育て応援局こども政策課

共催：一般社団法人 全国妊娠SOSネットワーク

後援：日本助産実践能力推進協議会

(日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会・全国助産師教育協議会・日本助産評価機構)

母子保健推進会議

助成：公益財団法人 日本財団



参加申込方法は裏面をご覧ください

受講申込書

所属名			
氏名		職種	
連絡先	TEL		FAX
	E-Mail	@	
(助産師のみ回答) アドバンス助産師の更新申請		有	無

申込期限：令和4年8月1日(月)

※お知らせいただいた個人情報は、当講座以外の目的で使用いたしません。

申込方法

(1) 研修申込みフォーム (Googleフォーム) による申込み

山口県健康づくりセンターホームページの「お知らせ」欄から研修詳細情報ページにアクセス、または右記のQRコードよりアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。



(2) メール、FAX、郵送による申込み

上記の「受講申込書」に必要事項を記入し、メール、FAX、郵送のいずれかの方法で提出してください。

【提出先】 〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号
 山口県健康づくりセンター
 TEL: 083-934-2200 / FAX: 083-934-2209
 Mail: hpc002@hwy.or.jp

お申込み前に必ずお読みください

- ①遅刻や早退がありませんようご注意ください。研修終了後は、受講証をお渡しします。
- ②受講料(テキスト代)は、当日会場にてお支払いください。(1人1冊1,000円)
- ③キャンセルする場合や当日欠席の場合は、速やかに連絡をお願いします。
- ④昼食は各自でご用意ください。会場内での飲食は可能です。ごみはお持ち帰りください。
- ⑤本研修は、アドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア」更新申請のWHC研修(予期せぬ妊娠をした女性の支援:6時間)として認められます。受講証等の準備がありますので申込み時に更新申請の有無をご記入ください。
- ⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、咳エチケットの徹底、手指消毒等のご協力をお願いします。
- ⑦研修会場は、場所によって空調の調節が難しい場合がありますので、衣服で調整をお願いします。
- ⑧新型コロナウイルスの感染拡大により研修を延期または中止する場合は、申込者に個別に連絡いたします。

お問合せ先

公益財団法人山口県健康福祉財団
山口県健康づくりセンター

〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号
 TEL 083-934-2200 / FAX 083-934-2209
 URL: <https://www.hwy.or.jp/center/>

